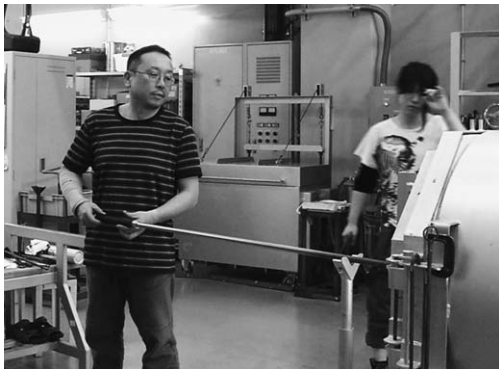
ガラス共同制作

6月2日（木）、「妖精の森ガラス美術館」で、ガラス工芸作家の共同制作が行なわれました。

ガラス美術館の工房で迫田岳臣さんが吹きガラスを作り石田彩さんが、削って模様を付けていきました。

この共同制作の完成品は、9月28日から妖精の森ガラス美術館で始まる企画展「岡山県のガラス作家たち―Part.1倉敷芸術科学大学を中心に」で展示されます。



岩屋健康教室

6月8日（水）、岩屋公会堂で、さつきの会主催の健康体操教室が開催されました。

みんなで体を動かし、健康の維持・増進に努めようと始められ、岩屋地区では、毎月公会堂に集まって体操や健康教室・おしゃべりの会などをしています。

今回は町健康増進課　西村課長代理が、集団検診について話をしたあと、講師の古澤かおる先生の指導で、布を使った健康体操を行ないました。

モンシロチョウの黒化型

6月6日（月）富小学校の3・4年生の児童達が教室で育ていたモンシロチョウのサナギが羽化したところ、18頭中1頭が黒っぽい羽の蝶になりました。

黒と白が逆転して、目は緑でとても珍しい蝶でした。倉敷市立自然史博物館（同市中央）によると、羽の形や目の色などからモンシロチョウに間違いなく、遺伝子の異常により、羽が全て黒色になった「黒化型」と考えられ、極めて珍しいケースで、県内での確認は初めてということです。

泉公民館田植え体験

6月8日（水）奥津小学校横の水田で泉公民館主催の農業交流体験学習（田植え体験）が行われました。

実際に田植え作業をすることで米作りについて学び、農作業の苦労や喜びを体験することを目的として行われたものです。

地元の老人会を始めとする多くの方が手伝いに集まり、児童に田植えのしかたを説明しながら交流を深めました。

苗の持ち方から植え方について説明を聞いたあと、児童らは裸足になり田植え綱に沿って横一列に並び苗を植えていきました。今回植えた品種は「コノエモチ」で、秋には稲刈り体験も予定しています。